



1 月 号

平成31年1月7日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 子どもたちから学ぶ

校長 天野 直美

東中田小学校は、地域・保護者の皆様のご理解・ご協力により、たくさんの取組を実現することができています。地域防災拠点訓練への全校参加は、学校が避難所となった際の状況をつかむことができる貴重な経験となりましたし、恒例となりました中田中央公園での「ランニングフェスタ」は、公園関係者のご協力や、利用者の方々がご自身の大切な時間と場所をさいて使用させていただくことでできる行事であることを再確認いたしました。またマーチングバンドクラブは全国大会に出場することを地域の皆様が喜び、励まし、見守ってくださる中で練習を重ね、銀賞をいただくことができました。さらに青少年指導員の方々は毎年、笑顔で1年生の昔遊び体験をご指導くださいます。本当に恵まれた地域環境に東中田小学校はあると思います。新年もこの支えに応えるべく、このまちの灯りとなる子どもたちの育成に尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

さて、昨年度もご紹介した「東中田小 子ども人権宣言」の振り返りが12月の代表委員会で行われました。昨年度のアンケートとの比較は次の通りです。全体的には嫌な思いをしている子どもが減少しているように思われます。

	しつもん	昨年度 (人)	今年度(人)
①	「やめて」と言っているのにやめてくれないことがある。	167	183
②	仲間はずれにされたことがある。	143	141
③	かげで文句を言われたことがある。	133	112
④	無視されたことがある。	191	165
⑤	悪口、暴力をふるわれたことがある。	172	145
⑥	顔、あだ名、体のことでからかわれたことがある。	174	147
⑦	物を取られたり、隠されたりしたことがある。	108	121
⑧	人のせいにしたり、自分のせいにされたりしたことがある。	137	124
⑨	自分がかくしていることをばらされたことがある。	151	161
⑩	その他	39	22

しかし、今年度のアンケートだけで人数を比較すると③「かげで文句を言われたことがある」

と⑦「物を取られたり、隠されたりされたことがある」が増えており、学校全体で取り組めることがないか、子どもたちは話し合いました。その結果、次のような意見と取組が決まりました。

原因 ; 「みんな仲良し」が仲良くなりすぎて、思ったことをすぐ言うのが原因ではないか。

; 「助け合い」が出来ていないから、苦しんでいる人がいるのではないか。

取組案 ; ないしょ話をなくす。話し合う。悪いことをなくす。ポスターを作る。相手のことを考える。自分が嫌なことは「いや」と伝える。

決定したこと ; ①一人ひとりが意識する。 ②ポスターや俳句を作る。

教職員は子どもたちの思いを受け取って「いじめ防止」に本気で取り組まねばならないと思いを強くしました。

実は、このような子どもたちの意識の高さが、学校の支えとなっています。

「あいさつビンゴ」「東中田スタンダードクイズ」「廊下歩行を呼びかける川柳の掲示」「全校遠足のスローガン もみじ」など、教員が思いつかないようなアイデアを子ども自ら生み出し、楽しみながら改善に取り組んでいるのです。



先日来校者の方々から「廊下でたくさん、子どもたちからあいさつされました。」と笑顔でお話をいただいた時には本当にうれしかったです。というのも、昨年「地域授業参観」にお越し

いただいた方々より「来校者へのあいさつが少ないように感じる。誰にでも自然にあいさつが出来るようになる」といいます。というご意見があったからです。子どもから学校生活をより良くしていこうという意識が生まれると、様々な問題の改善をより適切に図れるということを実感すると共に、子どもたちの力はあなどれない、子どもたちから学ぶことがたくさんあるという事に気付きました。

朝会で静かに整列し、しっかりと話を聞く姿勢も素晴らしいです。この子どもたちのよさにあぐらをかきことなくしっかりと教育活動を展開し、さらに子どもたちの力を引き出すための学校経営を行ってまいりたいと思います。

(お知らせ)

今年度より、教職員の負担軽減の取組として、プール清掃と廊下のワックスがけを外部受注いたしました。冬休み中に廊下のワックスがけをいたしました。給食室前の木製タイルが特に美しくまるでヴェルサイユ宮殿の鏡の間のように輝いております。1月の学習参観等で来校される機会にぜひご覧いただきたいと思っております。なお、これまで通り技術員によるワックスがけ、トイレ清掃も見事です。美しい校舎は本校のよさとして、子どもたちにも大切に使用するように声をかけていきたいと思っております。

